

感染対策に関する基本的事項

【セルフプロテクションとは】

- ・各自が常時不織布マスクを正しく着用すること(鼻から顎まで覆う状態)
※不織布マスク規格に準拠したマスクを原則とする:マスク性能表示として、BFE(細菌ろ過効率) $\geq 95\%$ 及び PFE(微粒子ろ過効率) $\geq 95\%$ を確認
- ・アルコール消毒液(濃度70%推奨)を使用し、何かに触れる前、触れた後に手指消毒を行うこと
※アルコール消毒液を入れた携帯用マイボトルの携行を推奨

以上の2点を徹底することで、自らを感染から守り、家族や友人を感染から守ることに繋がります。マスクを着用して公共交通機関をご利用頂ければ、感染者と1m以内の距離に乗車したとしても、二次感染リスクは0.1%(→1,000回に1回の頻度)よりもさらに低減化されます。また、マスク(不織布マスク準拠)を正しく着用していれば、仮に見知らぬ感染者の隣に着席しても、濃厚接触者には該当しません。

以上が、セルフプロテクションの基本的な考え方となりますが、日々の健康管理等に関する事項はあらためてご連絡いたします。

【入構時の対応】

- ・キャンパスの各門は開放し、サーモセンサを設置して体温測定を実施
- ・キャンパス内では、マスク着用及び、手指消毒によるセルフプロテクションの徹底

【入構後の対応】

- ・授業出席時にカードリーダーで学生証認証を実施
- ・キャンパス内の施設のうち、中央図書館、アカデミックシアター、食堂等では入口でカードリーダーによる学生証認証を実施
- ・三密の回避(密閉、密集、密接の状態が同時に発生すること)
- ・建物内の定期清掃(トイレ等の共有部分の消毒・清掃)

【学部棟・各号館の対応】

- ・建屋入口、エレベーターホールへ消毒液を設置
- ・各事務部窓口へ、パーテーション及び消毒液を設置

【講義室・実験室等の対応】

- ・教室等の試験定員までを目安として授業を実施
- ・教室等の窓や扉を開けて、定期的な換気を実施

【食堂の対応】

- ・消毒液の設置
- ・カードリーダーによる学生証認証を実施
- ・座席へパーテーションを設置
- ・教室の一部を食事場所として開放
- ・食事の際は向き合っただけの会食と会話を禁止することとし、黙食の徹底

【中央図書館・アカデミックシアターの対応】

- ・施設開放時間:8時45分～22時まで(図書館分室は19時まで)
- ・自習室、ACT:8時45分～22時まで(予約制利用可)
- ・ガレージ:9時～18時まで(当面の間)
- ・中央図書館は日曜開館も予定

【キャリアセンターの対応】

- ・就職相談:事前予約制で、Zoomまたは対面相談
- ・施設利用:利用可

【体調管理の徹底】

- ・少しでも感染等に見られる自覚症状がある場合は通学を控え、検査受診を行うこと
- ※感染が判明した場合、メディカルサポートセンターへ連絡してください。
mail:hoken@itp.kindai.ac.jp Tel:06-4307-3075

【その他】

- ・22時以降の研究活動は、原則として禁止
- ・一般部外者の入構は引き続き制限を実施

なお本学では、新型コロナウイルス接触確認無料アプリ「COCOA」をインストールし、活用することを要請します。

厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

以上